



物事を始めるチャンスを、
私は逃がさない。



神奈川県立

平塚看護大学校

Kanagawa Prefectural Hiratsuka College of Nursing

看護の本質を極める。
その学びがあなたを待っています。



ごあいさつ

本校は、2017年4月に“平塚看護大学校”に校名を変え、全国でも数少ない4年制の看護師基礎教育をスタートして7年目に入りました。

社会は少子超高齢化が急速に進展し、医療の場も病院完結型から地域完結型へと転換が進んでいます。看護師が活躍する場も、病院や診療所などの医療機関のほかに、訪問看護ステーションや介護・福祉関連施設などに広がっています。看護師には、人々の生命と生活を支える専門職として、あらゆる場で質の高い看護を提供することが求められています。

本校は、“時代の変化に柔軟に対応し自律した看護師として働くことのできる人材”の育成を目指して教育環境を整えています。充実したカリキュラムは、熱意ある外部講師の授業や、全カリキュラムの36%を占める臨地実習の実現に向けた各施設の理解あるサポートに支えられています。学内では、より臨床に近い環境でシミュレーション教育を行い、確かな知識と技術を身につけ、看護を実践する力を養っています。そして、看護実践能力を培った経験豊富な専任教員が、学生の個性を大切にしながら丁寧にかかわっています。これらの教育活動は、学生一人ひとりが豊かな人間性を養い、社会の期待に応え活躍できる専門職業人として成長していくことにつながっていると確信しています。

看護師を志す皆さんが、4年間を通して看護の喜びや看護のやりがいを実感し、自分自身の気づきを大切にしながら看護の本質を極めていくことを期待しています。



神奈川県立
平塚看護大学校
校長

樋口 美佳

Principal, Mika Higuchi



本校の教育理念

神奈川県立平塚看護大学校は、ナイチンゲール看護思想を基盤とし、相手の立場にたちあたたかなこころのこもった看護を大切にする教育を実践します。経験をとおり、ありのままの自分を受け入れ、豊かな人間性を養い、人々との相互関係の中で成長しあって、質の高い看護が実践できる看護師を育成します。さらに、保健・医療・福祉における幅広い視点から社会における看護の役割を考え、時代のニーズに即した看護実践能力が身につく教育を目指します。

教育目標

1. 人と関わる経験をとおりして、自己理解・他者理解をしていくことで、深く人間を理解し、豊かな人間関係能力を身につけることができる。
2. 生命の尊厳と倫理観に基づく人間愛を基盤として、こころのふれあう看護実践能力を身につけることができる。
3. 対象の生活の自立と生活の質の向上が図れるように、生活を整える看護実践能力を身につけることができる。
4. 保健・医療・福祉における看護の役割を理解し、多職種と連携・協働し、地域・在宅においても看護実践を推進できる能力を身につけることができる。
5. 専門職業人としての倫理観をもち、自ら学び行動することで、広い視野を持ち、看護であることないことを探究し続ける能力を身につけることができる。

在校生の声

夢を目指し仲間と共に学び合う！



2年次 長島 弥夢

入学当初は、高校の学習とは異なった専門的な知識や、技術の修得に戸惑うことも多くありました。しかし、授業内のグループワークにより仲間と意見を共有することで、視野が広がり、幅広い考えを持つことができるようになりました。また、放課後の技術練習などで仲間と切磋琢磨しながら、毎日充実した学校生活を送っています。臨地実習では、先生方の丁寧な指導により、これまで学んだ知識や技術を更に発展させ、看護について考えることができました。



3年次 城 ころこ

学年が上がるごとに専門的な知識と技術の内容が増えていきます。以前までの勉強の仕方では学習に遅れが出てしまうため、事前学習と復習をするという習慣ができました。グループワークをする機会が多い為、仲間と共に協力する大切さを実感し、協力する姿勢を身に着けることができました。この経験から初めての实習では1年間の知識、技術を活用してさまざまな視点から物事を捉え、グループの人と共に乗り越えることができました。



4年次 鶴野 日南子

本校ではナラティブという授業があり、実習での看護実践を語ることで語る力がつきました。また、他の学生の実習の経験を聴くことで、違う看護観にふれることができます。実習は不安なこともありますが、放課後に技術練習を行い、臨地実習では指導いただくことで技術の向上と自信につなげています。そして患者さんと笑顔で関わることができ、学校生活も楽しく送ることができています。

私が推薦します！



ナイチンゲール看護研究所
所長
徳島文理大学大学院
教授

金井 一薫
Ph.D. Hitoe Kanai

約150年前(1860年)、フロレンス・ナイチンゲールは、看護職の社会における自立とそれまでに人々が味わったことのない第一級の看護を提供することを目指して、ロンドンの地に世界初の看護学校を設立しました。

平塚看護大学は、伝統ある専門学校としてこの理念を継承し、真に実力を備えた看護師を、4年制の教育課程を踏まえて育成します。看護大学教育では実現しにくい教職員一丸となつての取り組みによって、本校は4年制教育のモデルとして、これからの日本には欠かせない人材を輩出していくことなのでしょう。心からのエールを送ります。

看護師になることがゴールじゃない。 看護師として働く人になる！

教育の3本柱

教育理念に基づき、1. ナイチンゲール看護思想、2. 確かな人間関係能力、3. 時代のニーズに即した看護実践能力を教育の特色とし、4年間かけて「看護師になる」教育から「看護師として働く人」を育てる教育に転換します。

ナイチンゲール
看護思想

時代のニーズに
即した
看護実践能力

確かな
人間関係能力

豊かな人間性

目指す学びの姿

学生が成長する学びの姿を、成長を支える栄養豊かな土壌、その土壌から水と栄養をたっぷりと蓄え、しっかりと根をはり大輪のなでしこの花を咲かせる「なでしこの花の姿」で表現しました。

人間を
理解する領域

関係を
深める領域

看護実践のための
知を身につける領域

看護実践のための
技を身につける領域

看護を創造し
探究する領域

専門職業人としての
倫理観を深める領域

連携・協働・推進を
学ぶ領域



『看護の本質を極める』を叶える。



看護であること、看護でないことを考え続ける

時代の変化に対応できるためには、一方で時代が変わっても、国や場所が異なっても、そこに人の生活がある限り決して変わらない「看護の本質～何が看護で何が看護でないのか」を理解している必要があります。本校は、日本が遭遇している少子超高齢社会の激動の中で、この看護の本質を学ぶことが、看護の発展に繋がると考えました。フロレンス・ナイチンゲールは、その著書である「看護覚え書」の中で、看護には医学とは異なる独自の働きがあると看護の専門性を示しています。“看護であるものと看護でないものを見分ける眼”を養い、今後さらに看護師の役割が期待される中で、ナイチンゲール看護思想に示される専門職業人としての人間観を養い、看護実践の基礎力がしっかり身につく自律型看護教育を目指します。



各科目

看護の原理を学ぶ



論理学
ナラティブ

論理的思考力を培う
内省から自ら気づく



看護研究

看護であること、
看護でないことを考え続ける

現在・過去・未来、人生を知り、看護する

本校では、『疾病を見るのではなく人を見る』『生活を整えることが看護』であると考えています。『人を見る、生活を見る』ということが最大のキーワードです。看護の対象である人を、現在・過去・未来という人生を生き、日々生活し、暮らしを営む人として、とらえることを大切にします。このため、対象となる人を出生から死に至る一生のサイクルの中で、領域横断的に学習が深まるよう発達看護論、健康段階別看護論を構成しています。

母性看護学

小児看護学

成人看護学

老年看護学

発達看護論・成長発達する人

健康段階別看護論・急性期、回復期、慢性期、終末期

人を見る

生活・暮らしを知る

人生を知る



時代の変化に対応する人材育成に価値を置く

いま、そして、これからの看護には、「多様で複合的な対象の状況を臨床判断し、相手の価値観を踏まえて必要な看護を考え実践する力」が求められています。ひとの生活を整える看護実践能力を養い、病院のみならず地域・在宅も視野に入れた教育を目指します。標準的な教育内容にとられない教育課程とし、学内にスキルラボを整備し、より臨床に近い状況でのシミュレーション教育を繰り返し行い、着実に科学的根拠となる知識・技術が身につく学習を積み重ねます。これらの学びと経験が、看護師として働く人として、看護していける価値を見出します。

1年次

タスクトレーニングにより確実な技術を身につける

2年次

シチュエーション・ベースド・トレーニングを繰り返し
基本的な判断力・看護実践力を身につける

3年次

4年次

シチュエーション・ベースド・トレーニングを繰り返し
臨床判断力・看護実践力に磨きをかける

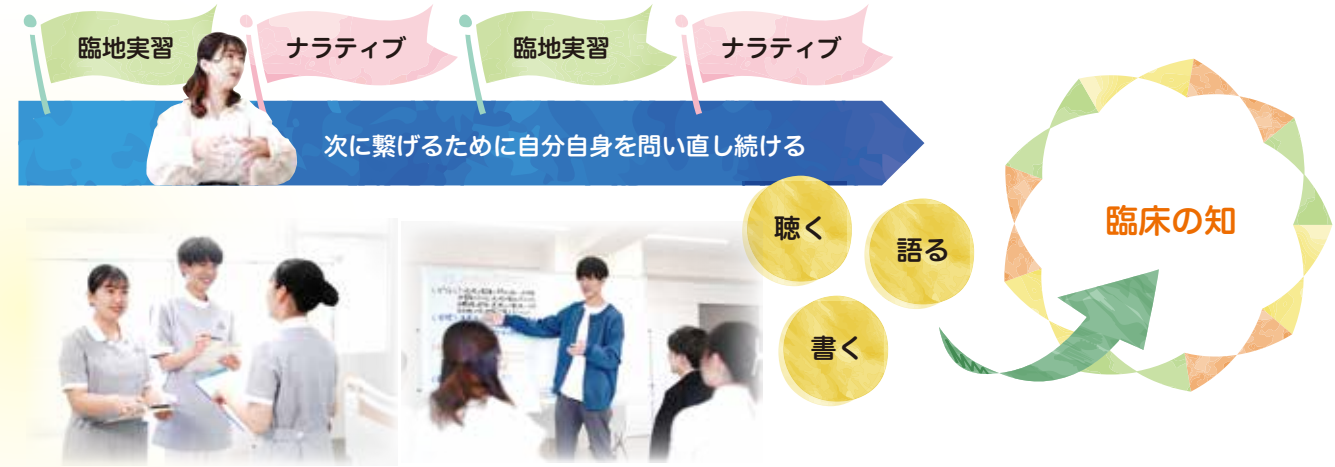
失敗してもいい、繰り返し
チャレンジすればいい!!

充実したシミュレーション環境



臨地実習とナラティブを連携させ 「考える」「内省する」「気づく」経験をする

ナラティブは学生が臨地実習での自らの経験をストーリーとして語ることを意味します。臨地実習で経験したことをとおして、学生が「内省」し「自分の気づき」にする教育が重要であると考えています。学生自身が経験したことを自分の物語<ストーリー>として「語る」「聴く」「書く（活写）」を行うことで、論理的思考で客観的かつ冷静に振り返り、次に繋げるために自分自身を問い直し続けることを、臨地実習科目ごとに4年間丁寧に行います。



臨床の知を概念化する、そのための基礎力を育みます。
語る・聴く・伝える力が身につく、
実習での経験の意味を考えられる力につながっていきます。

仲間と共に学び

考えられる力に

つなげる ～知と技、体験と学び・気づき、人と人、地域と“わたし”をつなげる～

本校の教育で大切にしているキーワードは「つなげる」です。科目と科目をつなげる、確かな「知」と「技」を実践力につなげる、学生の体験を学びや気づきにつなげる、人と人をつなげる、そして病院（施設）から地域・在宅につなげていくことです。具体的には日常生活行動の視点から、からだのしくみを理解し看護に『つなげる』ように科目が構成されています。例えば、3年次には科目：地域密着健康教育で地域と具体的につながっていきます。

看護につなげる形態機能学

従来の医師による病気のメカニズム中心の授業形態から、日常生活行動の視点から、からだのしくみを理解する形態機能学を導入。そしてそれらを看護実践につなげる知識となるよう「看護につなげる形態機能学」を導入し、「看護技術論」に発展していくよう構成しています。



地域密着健康教育

「地域包括ケアシステム」の構築を視野に入れた科目の一つです。地域の事業所が運営する健康や生活を支援する企画に1年間を通して活動します。地域と『つなげる』ために、一歩踏み出すアクション力・調整力・交渉力が必要となり、学生の大きな成長を支えています。

つなげ発展する時間

実習での学びを更に豊かにしていくためには、実習前・実習中・実習後の学習準備・振り返りが大切と考えています。そこで本校では、実習時間以外に自分自身で学習準備・振り返りができるよう実習前・実習中・実習後に授業日程を入れず自己学習できる自由な時間が取れるよう授業日程を工夫しています。

<「つなげ発展する時間」参考例>

つなげ発展する時間	実習前	実習1日目	実習2日目	実習3日目	つなげ発展する時間	実習中	実習4日目	実習5日目	実習6日目	学内日	実習7日目	実習8日目	実習9日目	実習10日目	つなげ発展する時間	実習後	学内最終日
-----------	-----	-------	-------	-------	-----------	-----	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	--------	-----------	-----	-------



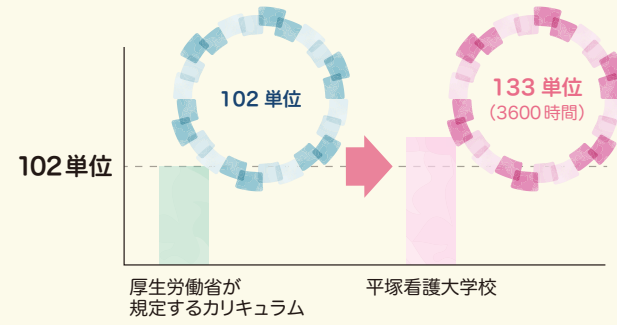
看護師として働く人になる!!

これまでの看護師教育は3年間で看護師になる教育でした。本校ではじっくり、しっかり、着実に学ぶことで、4年間で『看護の本質を極め』、看護師という専門職業人として働く人を育てる教育を目指しています。

4年制教育の特徴

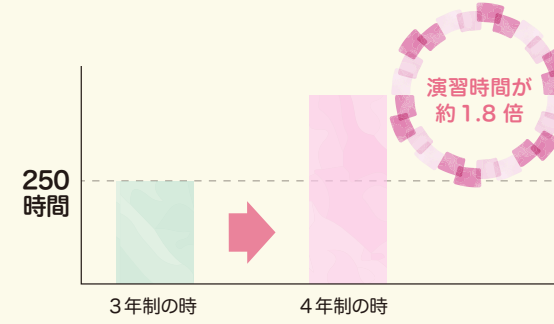
じっくり学ぶ

演習・実習時間を充実させ、3年制教育では実現できないカリキュラムで、看護をじっくり、しっかり学ぶことができます。



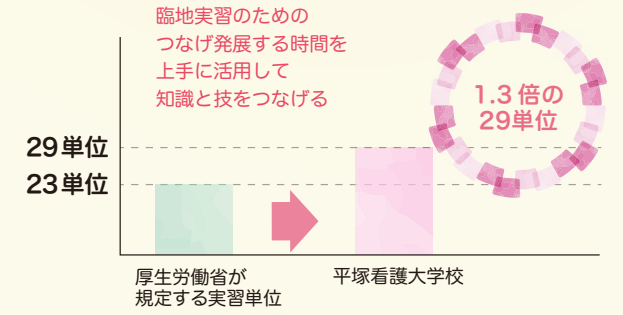
しっかり学ぶ

豊富な演習時間で、しっかり学ぶことができます。



着実に学ぶ

充実した臨地実習時間で、着実に学ぶことができます。



カリキュラムマップ 総計 133 単位 / 3,600 時間 (参考: 厚生労働省規定では総計102単位) ※令和4年度カリキュラム改正

看護であることを考え続け実践できる力

概念本 領域 (構成要素)	人間関係能力		看護実践能力		看護の探究	連携・協働・推進	専門職業人としての倫理観
	人間を理解する領域	関係を深める領域	看護を実践するための知を身につける領域	看護を実践するための技を身につける領域	看護を創造し探究する領域	連携・協働・推進を学ぶ領域	専門職業人としての倫理観を深める領域
4年次						職場適応統合看護実習 国際看護 災害看護 医療安全 看護管理 保健福祉の動向と法規 社会福祉論	
	教育学	人間関係論Ⅳ	健康段階別看護論Ⅶ(終末期) 健康段階別看護論Ⅵ(急性期②/周手術期) 健康段階別看護論Ⅴ(急性期①/クリティカル) 発達看護論Ⅹ(リプロダクティブ・ヘルス③) 発達看護論Ⅸ(リプロダクティブ・ヘルス②) 地域・在宅看護論Ⅳ 看護援助論Ⅱ(症状アセスメントと看護)	健康段階別看護論実習Ⅲ(終末期・慢性期) 発達看護論実習Ⅲ(母子②) 地域・在宅看護論実習Ⅱ 看護援助論統合演習Ⅱ	健康段階別看護論実習Ⅱ(急性期・周手術期) 健康段階別看護論実習Ⅰ(回復期・慢性期) 発達看護論実習Ⅱ(母子①) 地域・在宅看護論実習Ⅰ 看護援助論統合演習Ⅰ	テーマ別看護実習 研究の実際 ナラティブ応用看護論演習 ナラティブⅣ	医療・看護倫理
3年次	保健行動科学 運動生理学 哲学	日本の文化と芸術 手話 看護につながる英会話 人間関係論Ⅲ	健康段階別看護論Ⅶ(終末期) 健康段階別看護論Ⅵ(急性期②/周手術期) 健康段階別看護論Ⅴ(急性期①/クリティカル) 発達看護論Ⅹ(リプロダクティブ・ヘルス③) 発達看護論Ⅸ(リプロダクティブ・ヘルス②) 地域・在宅看護論Ⅳ 看護援助論Ⅱ(症状アセスメントと看護)	健康段階別看護論実習Ⅱ(急性期・周手術期) 健康段階別看護論実習Ⅰ(回復期・慢性期) 発達看護論実習Ⅱ(母子①) 地域・在宅看護論実習Ⅰ 看護援助論統合演習Ⅰ	研究的方法 ナラティブⅢ	チーム医療連携 地域密着健康教育	キャリア教育 情報リテラシーⅡ
	家族関係論 社会学	コミュニケーションリテラシーⅡ 人間関係論Ⅱ	健康段階別看護論Ⅳ(慢性期②) 健康段階別看護論Ⅲ(慢性期①) 健康段階別看護論Ⅱ(回復期) 健康段階別看護論Ⅰ(概論) 発達看護論Ⅷ(リプロダクティブ・ヘルス①) 発達看護論Ⅶ(子どもと家族③) 発達看護論Ⅵ(子どもと家族②) 発達看護論Ⅴ(子どもと家族①) 精神看護学Ⅲ 地域・在宅看護論Ⅲ 地域・在宅看護論Ⅱ 看護援助論Ⅱ(症状アセスメントと看護) 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	発達看護論実習Ⅰ(成人・老年) こころを理解する実習 看護援助論実習 看護技術論Ⅴ(治療援助)	ナラティブⅡ ケアリング論		
1年次	微生物学 栄養学 生化学 生命の法則 生涯発達論 心理学 論理学	コミュニケーションリテラシーⅠ 日本語表現 英語 人間関係論Ⅰ	発達看護論Ⅴ(子どもと家族①) 発達看護論Ⅲ(老年①) 発達看護論Ⅱ(成人) 発達看護論Ⅰ(概論) 地域・在宅看護論Ⅰ 精神看護学Ⅱ 精神看護学Ⅰ 看護援助論Ⅰ(対象理解と看護) 病気のメカニズム 看護につながる形態機能学 形態機能学Ⅲ 形態機能学Ⅱ 形態機能学Ⅰ 看護学概論 看護学原論	看護の対象を理解する実習 看護の対象と場を知る実習 看護技術論Ⅳ(生活援助②) 看護技術論Ⅲ(生活援助①) 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント) 看護技術論Ⅰ(援助的人間関係)	ナラティブⅠ		情報リテラシーⅠ 倫理学

■ ■ ■ ■ * 知と技が統合される領域

深く人間を理解する力・確かな人間関係能力

1年間のスケジュール

1年生の
予定



1日のタイムスケジュール

授業の日

- 6:30 起床・朝食
- 7:30 家を出発
- 8:30 学校に到着
- 9:00 1限開始
- 10:40 2限開始
- 12:10 昼休み
- 13:00 3限開始
- 14:40 4限開始
- 16:30 放課後技術練習
- 18:30 帰宅・夕食
- 明日の準備
- 入浴
- 23:00 就寝



臨地実習の日

- 6:00 起床・朝食
- 7:00 家を出発
- 8:00 実習施設に到着
- 8:30 病棟へ 患者さんにあいさつ
- 10:00 打合せ 患者さんとコミュニケーション
- 10:00 体温・血圧測定など
- 清潔援助など
- 12:00 昼休み
- 13:00 患者さんとコミュニケーション
- リハビリ見学など
- 16:00 実習終了
- 17:30 帰宅・夕食
- 入浴
- 実習記録
- 23:00 就寝



1年次の声

本校を選んだ理由



指定校
入試

赤岩 真帆

私が本校を志望したのは、臨地実習時間が豊富にあるためです。また臨地実習の間に「つなげ発展する時間」があり、臨地実習期間中でも自己学習する時間が取れることです。疑問点や改善点をじっくりと考えられるため、次の臨地実習にもつながり、将来自分の力を最大限発揮できることにつながると思います。

受験生へのメッセージ

指定校推薦は、面接が大きな判断材料となります。出願書類や内容から深く質問されることが多く、自分の考えをしっかりと発言することを求められているように感じました。いくつもの質問を想定して練習を行えば、本番では落ち着いて出来ると思います。頑張ってください！！



AO
入試

丸山 麗菜

私がこの学校を選んだのは、臨地実習時間が豊富に設定されているからです。臨地実習が多いということはその分大変だと思うかもしれませんが、「若いうちは苦労は買って出てもせよ」というように、社会に出てから苦労するよりも学生のうちに苦労したほうが良いと思い、本校を選びました。

受験生へのメッセージ

面接対策としては、まずエントリーシートなどに書いた内容に重点を置き、自己分析することが重要だと思います。その上で学校に入った後や未来に向けて自分がなりたい看護師像などを考えていると良いと思います。落ち着いて話せば大丈夫！頑張ってください！



一般
入試

小山 浩樹

私は1年次から専門的な科目を多く学べるだけでなく、スキルラボや実習室といった病院に基づいた環境で技術を磨くことができる点に感銘を受け、本校への入学を志望しました。

受験生へのメッセージ

一次試験は、単語や品詞、公式などの基盤から学ぶことをお勧めします。二次試験は、自分の伝えたいことを再確認しておきましょう。面接ノートを作るのも良いと思います。千里の道も一歩から、小さなことからでも焦らずに頑張ってください！

入学を希望される方々へ

本校は未来のジェネラリストの看護師として神奈川県医療・看護に貢献できる人材育成を目指しています。この考えを基盤とし、人とひととのつながりを大切にできる、意欲ある学生を求めています。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

- ① 看護を学ぶ目的意識を持ち、学ぶ姿勢を大切にしている人
- ② 生命を尊重し、他者を思いやる気持ちを持ち、人間を理解する姿勢を持っている人
- ③ 自己およびいろいろな考えを持つ他者を理解しながら、積極的に人間関係を築こうとする人
- ④ ものごとをさまざまな角度からとらえ、看護について考え実践できる人
- ⑤ 自律した社会の一員として自覚を持ち、自分の果たす役割に責任感を持っている人
- ⑥ 自ら学び、自身を成長させようとする人



卒業時に取得できる資格

- 看護師国家試験受験資格
- 高度専門士
- 大学院入学資格

高度専門士とは

修業年限が4年以上の専修学校専門課程を修了した者に与えられる称号で、国内では大学卒業の学士と同等の学力があると認められています。

本校において、文部科学省の指定する専門課程を修了することにより「高度専門士」の称号が付与されるとともに大学院入学資格が得られます。

入学金、授業料、修学資金・奨学金制度等

- 入学金 70,500円（初年度のみ）
- 授業料 年間 217,200円（その他教材費等が4年間で合計70万円程度）
- 修学資金・奨学金制度 神奈川県看護師等修学資金、日本学生支援機構奨学金。また、高等教育の修学支援新制度対象校です。

実施入学試験

- 指定校推薦入試
- AO入試
- 一般入試

入学試験の詳細については、入学案内や本校ホームページ等をご確認ください。



<https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f9/>

主な実習協力施設

主な実習病院

- 平塚市民病院
- 平塚共済病院
- 小田原市立病院
- 伊勢原協同病院
- 神奈川県立足柄上病院
- 神奈川県立精神医療センター
- 秦野赤十字病院
- 済生会湘南平塚病院
- 積善会曾我病院
- 弘徳会愛光病院
- 茅ヶ崎市立病院 など

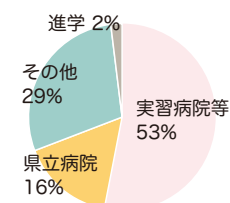
主な実習施設

- 訪問看護ステーション
- 介護老人保健施設
- 保育所
- 就労継続支援B型事業所
- 助産所
- 特別養護老人ホーム
- 老人福祉センター
- 地域包括支援センター など

健康な人から病気を持つ人を対象に各看護学に合わせた実習を行います。指導力に優れた実習指導者のいる施設の協力を得ています。

令和4年度卒業生の進路

- 就職者の全員が県内に就職
- 進学先（助産師、養護教諭等の）
（専門学校・大学）



2022年度
国家試験
合格率
100%

これまでの国家試験合格率

年度	本校	全国
2022	100%	95.5%
2021	100%	96.5%
2020	95.7%	95.4%
2019	4年制に伴い卒業生なし	94.7%
2018	100%	94.7%

※合格率は新卒者のみを対象としています

卒業生の声

卒業後の姿



訪問看護ステーション

山栞 文子

3年次の実習で地域・在宅看護論に興味を持ち、就職し現在は訪問看護師2年目になります。対象である利用者さんの生活や、人生そのものに触れながら、じっくり向き合っている訪問看護の魅力を感じています。平塚看護大学の看護の知識や技術と同時に、一人ひとりに寄り添うということについて深く学びました。この学生時代の学びが、看護師として働く上での基盤になっていると思います。



病院勤務

佐藤 将樹

授業や実習を通して、対象に関心をもち、様々な視点から対象を捉えて看護することの大切さを学びました。2年次のところを理解する実習で、その人らしく生きることを支える精神看護に魅力を感じ、卒業後は精神科の病院に就職しました。患者さんと一人の人として向き合い、自己理解を深めながら援助的人間関係構築に努め、患者さんにとって最善の看護を考え実践していきたいと思っています。



進学

根岸 芽衣子

4年間での様々な学びや体験から、女性やその家族を一生に渡り支えていきたい、性の多様性が進む時代で、もっとジェンダーやセクシュアリティについての理解を深めたいと思い、新たに助産師という夢を抱くようになりました。卒業後は、助産師学校へ進学し、今は助産師になるための勉強をしています。平塚看護大学で学んだことを土台とし、対象の人生に寄り添える助産師を目指して、これからも頑張っていきます！



神奈川県立

平塚看護大学校

〒254-0063 神奈川県平塚市諏訪町20-12

TEL : (0463)32-3533 FAX : (0463) 33-8859

JR 東海道線

平塚駅 北口バス乗り場から

●2番のりば 30・31・32・34・73・76系統

「江南高校前」バス停下車 徒歩5分

●3番のりば

22系統：市民病院（諏訪町経由）行き

77系統：東海大学行き

「豊原町」または「諏訪町」バス停下車 徒歩3分

小田急線

伊勢原駅 南口バス乗り場から

●1番のりば 91系統：平塚駅行き

●2番のりば 90系統：伊勢原団地経由 平塚駅行き

「共済病院前総合公園西」バス停で下車 徒歩8分

秦野駅 北口バス乗り場から

●1番のりば

71系統：平塚駅行き 74系統：下大槻団地経由平塚駅行き

「江南高校前」バス停で下車 徒歩5分



授業料や入学概要などの詳細は
ホームページでご紹介しています！

平塚看護大学校

検索

